

# 教授 武田 真理子 (Mariko Takeda)

## 研究シーズ

【国際関係】 【社会福祉】 【社会】

## 専門

社会政策 / ニュージーランド研究 / 地域人材育成 / 公益学

## 研究キーワード

地域人材育成 / 社会保障・社会福祉 / コーディネーション / 多文化共生 / ニュージーランドの社会政策



## 研究テーマ

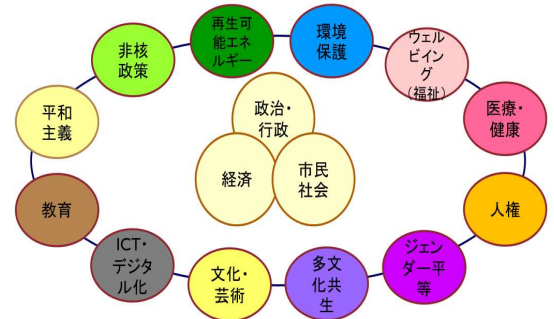
ニュージーランドにおける社会政策と多文化共生に関する研究

## 研究の概要

ニュージーランドは人口が530万人と小規模の島国ですが、世界で初めて女性参政権を確立し、世界で最初に8時間労働制、全国的最低賃金制度、全国民対象の包括的社会保障制度を定めた社会政策の先進国です。歴史的には、先住民マオリと植民地の宗主国となったイギリスとの複雑な関係があり、1975年以降にその過ちを乗り越えるための二文化共生、多文化共生の社会づくりに取り組んできました。また、市民社会を土台に、徹底した非核政策、マオリの文化を尊重した環境政策、強い市民統制に基づく政治・行政運営を実現しています。

自身の研究では、完全税方式の包括的な社会保障制度と、異なる文化・言語・価値を尊重する多文化共生社会の関係性について、具体的な社会保障・社会福祉制度の変遷のプロセスを分析することにより明らかにしようとしています。社会保障制度と多文化共生政策のみを分析対象とするのではなく、その歴史的背景、社会構造の三つの柱である経済、政治・行政と市民社会の変容、そして他分野との関係性を含めて多角的かつ総合的な分析に挑戦したいと考えています。

持続可能な社会・・・正の連鎖の実現に向けて  
～ニュージーランドの場合～



## セールスポイント

山形県庄内地域に居住して25年が経ちました。無数の地域課題の中で、私自身は特に地域の国際化、多文化共生と地域人材育成に関心を持っています。専門の社会政策、ニュージーランドの研究を深めると同時に、その知見を活かしながら、ソーシャルアクションとして「スクールソーシャルワーカー」、「地域共創コーディネーター」、「多文化共生コーディネーター」の育成に取り組んでいます。どのような挑戦をしているか、興味のある方は下記の研究業績をご参照ください。

<https://researchmap.jp/marikotakeda>

## 想定される用途・応用例・活用例

- ・ 社会福祉、労働、教育を中心に、多文化共生に向けた課題の克服方法の検討、政策立案
- ・ 「学び」「運営」「実践」の循環による地域人材の育成